

令和2年6月29日

大河原地区教科用図書採択地区協議会
委員長 佐山 富夫 殿

大河原地区教科用図書採択地区協議会
公聴会委員長 永井 哲

令和3年度使用教科用図書採択についての意見について（提出）

大河原地区教科用図書採択地区協議会公聴会設置要綱第2条の規定により、別添のとおり意見を提出いたします。

1 採択基準について

(中学校 各教科)

- ・さまざまな角度から基準が設けられていて、特に問題はないと思う。
- ・3(3)生徒の多様な個性や能力に広く対応できるか。→今後、ますます個性が尊重されていくと思うので、今まで以上に大切な視点になっていくと思う。
- ・道徳は、他の教科のように○×ではないのでどのような基準で採択されるのか興味があった。教科書をもとに先生方にゆだねられる部分も多いと感じる。
- ・基準として問題なくよいと思う。
- ・各教科4項目について、詳細にわたって、よく分析ができていると思いました。各図書の利点を捉えておりますが、欠点弱点はなかったのか気になりました。
- ・教科用図書を評価する際に考えられる基準をほぼ網羅しており、適切である。この基準によって各教科用図書を総合的に評価し、あるいは優劣をつけることは非常に困難であることは容易に想像でき、調査研究にあたる方々のご苦勞に敬意を表したい。
- ・採択基準がきめ細かく、子どもたちの学習に配慮されていると感じました。特に問題はないと思います。
- ・選定資料を作成するための観点が、必要かつ十分に示されていると感じた。
- ・「主体的な学習態度の育成」「主体的・対話的で深い学び」など、新学習指導要領の趣旨や要点を適切に反映していると感じた。
- ・「4 表現と体裁等に関すること」に、今日、多様性への対応という視点から重視されており、文科省通知(第1807号)にも明記されている「ユニバーサルデザイン」という言葉を取り入れてもよいのではないかと感じた。
- ・基準として問題ないと思います。
- ・基準1～4の大項目について特に問題はない。
- ・基準3「学習と指導に関すること」内容について、①今後ギガスクール等の施策によりタブレットが一人に1台という時代になる。そのため、ウェブページのアドレスやQRコード掲載をますます充実させ、生徒の更なる興味・関心を高め、主体的な学習に資する基準になることを期待する。②保健体育の教科用図書は中学校3年間使用することになる。指導内容や指導時期によってデータや資料が最新のものとならない場合がある。その部分のフォローアップが適切に施されている必要がある。
- ・基準4「表現と体裁等に関すること」内容について、色覚異常の障害を持つ生徒に対する配慮が含まれているとよい。(見分けにくい色、見分けやすい色への配慮)
- ・学習指導要領及び学校教育の方針と重点に基づく適切な採択基準であると思います。個人的には「3 学習と指導に関すること(2)」に記載されている「生徒の経験や興味・関心を大切にし、」という部分について生徒が主体的に学ぶために非常に大切なことであると思いました。
- ・新学習指導要領の趣旨を反映し、『3 学習と指導に関すること』の内容に、「(1)課題を解決する思考力・判断力・表現力の育成」、「(2)主体的・

対話的で深い学びを実践する」となっており採択基準として適切である。また、webページアドレス等の基準が設けられたことは、ICT教育を広く実践していく上で効果的である。

- ・全てにおいて、きめ細かな配慮がなされていると思います。
- ・子どもたちを思い、子どもたちのことを考え検討してくださり感謝します。
- ・新学習指導要領が反映されており、採択基準として適切である。基準が明確であると考える。
- ・適当の内容と思われる。総合的にバランスよく配置されており、取り組みやすい構成のものが多く見られた。
- ・「2組織と配列に関すること」の(3)に、「基礎的・基本的な内容の確実な定着と発展的な学習を進められるように配慮されているか。」とあるが、やや違和感を感じる。配慮すべきこととして、「基礎的・基本的な内容の確実な定着」と「発展的な学習を進められるように」が並列的に表記されているが、文末表現が異なっていて紛らわしい。そこで、「基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られ、発展的な学習を進められるように配慮されているか」の方が国語的により妥当に思う。
- ・選定の過程と議論は公開されており、透明性が確保されている。
- ・専門員会での専門的事項の調査結果を拝見し、順位付けをすることの難しさがあったのだろうと感じました。きめ細やかな調査で採択基準と照らし合わせており問題ないと考えます。
- ・色々な教科書のカラーがあるように、その時々生徒に合う教科書があると思います。現場(学校)で生徒に合うものを選んでいただくと良いと思います。
- ・学習指導要領の3つの育成すべき資質・能力を反映しつつ「学校教育の方針と重点」の各教科からの重点を押さえた基準になっている。また、基準となる種目の内容も適切である。
- ・教科書の選定は学習指導要領に基づき採択が行われていると思いました。
- ・各教科の専門家の方が時間をかけて調査されていることがわかりました。

(学校教育法附則第9条の規定による一般図書)

- ・特に問題はないと思う。
- ・児童生徒の実態に応じた必要な学習ができるよう様々な図書の中から選択できる基準になっている。
 - ・膨大な冊数を詳細に渡ってよく分析ができていると思いました。
 - ・障害の程度や指導のねらいに幅広く対応できるような基準になっており、適切である。ただ、2(1)学習効果があがる内容配列や、2(3)の季節や行事等との関連など、必ずしもすべての一般図書に当てはまらない基準が必要か疑問である。
- ・2(2)内容の分量や4(3)活字の大きさについての基準は、どのような児童生徒を対象に適切と判断するのか不明であり、基準としては曖昧である。
- ・各児童生徒に合わせた学習ができるよう多くの図書が審査されていました。採

採基準も明確であり、特に問題ないと思います。

- ・選定資料を作成するための観点が必要かつ十分に示されていると感じた。
- ・「障害の状態や発達の段階、特性等」「多様な感覚を活用」など障害に配慮した基準が明記されており、よいと感じた。
- ・「4 表現と体裁等に関すること」に今日、多様性への対応という視点から重視されており、文科省通知（第1807号）にも明記されている「ユニバーサルデザイン」という言葉を取り入れてもよいのではないかと感じた。
- ・基準として問題ないと思います。
- ・基準1～4の大項目について特に問題はない。障害の種別により適切な採択が可能となっている基準である。
- ・基準3「学習と指導に関すること」内容について、今後ギガスクール等の施策によりタブレットが一人に1台という時代になる。そのため、ウェブページのアドレスやQRコード掲載を充実させ、生徒の更なる興味・関心を高め、主体的な学習に資する基準になることを期待する。
- ・基準4「表現と体裁等に関すること」内容について、色覚異常の障害を持つ生徒に対する配慮が含まれているとよい。（見分けにくい色、見分けやすい色への配慮）
- ・生徒の様々な実態に応じた学習に対応できる適切な採択基準であると思います。
- ・『3 学習と指導に関すること』の内容に「（1）障害の状態や発達の段階、特性に応じているか」となっており、一般図書の視点として最重要であり、適切である。
- ・基準が明確でよく吟味されており、問題ないと考える。生徒一人ひとりの特性に応じて選べるようになっている。
- ・適当の内容と思われる。一人ひとり特性が異なり、それに伴ったオーダーメイドであった。「分かる」「できる」「もっと！」が兼ね備えている内容と思われる。自立を目指すものであった（社会性）。イラスト・カラー等で興味・関心。
- ・文科省では、今回の学習指導要領の改訂の基本的な考え方として、卒業後の生徒の自立と社会参画を目指す教育を充実させ共生社会の実現を目指すことを掲げている。このことから「1 内容に関すること」の「（3）社会適応能力の向上を図り、自立や社会参加を促す配慮がされているか。」という基準は、今回とりわけ重要な視点と感じられる。
- ・よく吟味されており、基準としても問題は見られない。
- ・子どもの現状・実態に応じた本が選べるようになっており良いと思います。
- ・学習指導要領や「学校教育の方針と重点」の趣旨に沿った基準になっている。また、児童生徒の発達状態に合わせ、多種多様な図書が採択できる基準となっている。
- ・冊数が多く、使用する児童生徒に合わせて選べるようになっていていると感じました。
- ・防災や感染症予防に関係する図書が少ない。

2 手続き・日程について

- ・2市7町で共同採択が行われていることは、地域性・文化的な観点からとても望ましいと思う。
- ・教科書展示会は、今まで図書館で催されているのは知っていたが、今回初めて手に取って拝見した。「我が子が手にするとしたら？」と思いながらみるととても興味深く感じた。PTA広報などでもっとPRしてほしいと思う。
- ・採択の時期を考えるとこの日程でよいと思う。
- ・教科書展示会については14日間とっており、地域住民が図書を縦覧できる期間が十分とられていると思います。
- ・公聴会について意見の提出まで1週間の検討期間をいただいておりますが適当な期間だと思います。
- ・非常に丁寧な手続きを踏んでおり、適切である。
- ・短い日程の中で調査をしていることに感心しております。膨大な資料を基に大変な作業だと感じました。
- ・学習指導要領の改訂（新学習指導要領）を受けた新しい教科書の初めての採択であることから、綿密な調査研究や慎重な審議が望まれるが、法令等や需要数の把握等を考えれば、厳しい日程になることもやむを得ないと思う。
- ・手続き等大変かと思いますが、採択の公正確保の為には仕方ないのかなと思います。
- ・特に問題はない。
- ・手続きについては問題ないと思います。日程については、資料等を確認できる期間がもう少し長ければよいのではと思いました。
- ・概ね適切である。
- ・採択の時期を考えると適切である。
- ・コロナでも日程や手続き等進められており感謝します。
- ・コロナ禍の中でも計画通りに採択事務が進んでいること、関係者の皆様のこれまでのご苦労、ご努力に敬意を表します。
- ・全体的な手続きは厳格であり、十分時間を掛けて吟味されていると感じた。
- ・多少日程が詰まっているが、採択の時期を考えると致し方ないと思います。
- ・意見書を作成するに際して、公聴会の検討する期間が少ないと感じたが、その後の協議会や採択決定等の日程を考慮すると順当である。

3 専門員会調査結果等について

(中学校 各教科)

- ・各教科の特徴が細かく記されており、資料を読んだだけでは順位付けの理由がわからなかったが、教科書を実際みてなるほどと納得するところがあった。
- ・各教科、細かく丁寧に調査し、時間をかけた検討がなされたと感じます。
- ・順位付けの関する基準は、不明確ではありますが、よく調査され特に問題がないと思います。
- ・採択基準に沿って詳細かつ具体的な調査研究が行われていて、信頼できる内容

である。短時間でこれだけの調査研究を行った専門員に敬意を表する。

- ・各教科よく検討されていて細かく明確に作成された調査結果に感動いたしました。
- ・採択基準に基づき、県の調査研究等を参考にしながら各教科書の特徴をわかりやすくまとめていると感じた。
- ・各教科ごとに総合的な判断で第3位まで順位付けしており、採択の際の参考になると思うが、上位の教科書について、他者と比較してどういった点が具体的に優れていた（よかった）のか知りたいと感じた。
- ・細かく丁寧に分析・作成されており、素晴らしいと思います。ただ、全ての図書の良い点についてのみ記載されており、何が順位の決定基準なのかが不明確に感じました。
- ・採択基準に準じ、丁寧に選定されている。専門員の先入観や主観が入った選定にならないよう注意したい。
- ・各教科とも採択基準の種目毎に重点すべき事項を捉えたうえ適切に調査されていると思います。各社の良い点等が分かり易く簡潔に記載されているため、選定理由も理解しやすく、順位についても納得できる内容でした。
- ・教科によっては、分野別になると10冊以上の検討が必要になる。さらにどの出版社にも良さがあるので、順位を付けるのには苦労したと推察する。その際、決め手とした選択の観点をもう少し明確に書いてほしかった。
- ・子どもたちを思い、子どもたちのことを考え検討してくださり感謝します。
- ・丁寧に細かく分析されており、各教科とも教科用図書の特徴をよくまとめ明確な調査が行われている。
- ・適当と思われる。学習指導要領に各教科にも示されており、教員にとっても指導しやすく適切に配置されている。
- ・書写や社会科、家庭科において、調査結果の選定順位1位が今年度使用している発行者と異なっていた。次年度は学習指導要領完全実施の節目に当たるので、安易にこれまでの発行者を踏襲するのではなく、新時代に適応した、より生徒が学びやすく、教師が教えやすい教科書が推薦されていた点を評価したい。
- ・専門員会の答申は客観的であると思うが、ネガティブな評価が全く無い。国の審査を通過しているので差は小さいのだろうが、比較検討の材料となり得るのか若干疑問が残る。
- ・専門性を発揮し、よく細かいところまで調査していると思います。1位～3位の順位の決め方が分かるとよりすばらしいと感じました。
- ・問題なし
- ・各教科の諸出版社ごとに、基準となる種目に適している内容だったので、見識のある専門員の選定に問題はないと考える。
- ・1位から3位まで順位付けはされていましたが、その差は僅差なのだと思います。専門家の方々の調査結果を読んでも差が解らなかったです。

(学校教育法附則第9条の規定による一般図書)

- ・資料を読むと一冊の本には様々な工夫や特徴があることがわかり、それを手にする子どもたちや先生の様子が想像できた。今後もその時代に合った新しい図書が選ばれてほしい。
- ・各教科の調査書には記されていなかった「～のように工夫する必要がある」「～と補助する必要がある」など具体的に調査されている。
- ・十分な調査がされていると思います。
- ・多数の図書を統一的に結果報告するのは大変だったと思いますが、良くまとめ上げていただいたと思います。
- ・それぞれの一般図書の良さが詳細かつ具体的に評価されており、適切である。
- ・各児童に合わせ、幅広く細やかに調査されていると感じました。
- ・採択基準に基づき、県の調査研究等を参考にしながら各図書の特徴を分かりやすくまとめていると感じた。特に「総評」が各図書の特色を端的に表しており、参考になると感じた。
- ・細かく丁寧に分析、作成されており素晴らしいと思います。
- ・幅広い分野から、適切に選定されており障害種別・発達段階に応じた活用ができる。
- ・評価欄にある「AとB」、「◎・○・記載なし」についての説明記載があると良い。
- ・100冊以上の図書が採択基準に基づき適切かつ丁寧に調査されていると思います。総評では「何を学び、何ができるようになるのか」という点が非常にわかりやすく説明されていて、生徒の特性や実態に適した図書を使用することができることがわかりました。
- ・それぞれの特徴がよく捉えられており、障害のある生徒の個に応じた図書を使用できると思われる。
- ・非常に調査研究されていることが報告書から読み取ることができました。
- ・それぞれの一般図書の特徴をしっかりと捉えている。生徒の個に応じた図書が選定しやすいようになっている。十分な検討がされていると読み取れた。
- ・適当と思われる。学習指導要領に各教科にも示されており、教員にとっても指導しやすく適切に配置されている。一人ひとりに合った図書を選び、学習に安心して取り組める内容と感じた。子供一人ひとりの特性は違う為、より指導員が特性把握しその児童に合った内容や『文字・色・形・イラスト・写真等』を取り入れてほしいと思った。
- ・各図書の評価の右下に記された「BA◎◎」等の表の意味について、説明されているところが見つかりませんでした。どこかに書かれているのだろうと思いますが、もう少し分かりやすい場所に記してほしいと思いました。
- ・教科を超え、様々な分野のものが選定されており、良いと思います。
- ・問題なし
- ・特別支援の児童生徒の特性を配慮された使いやすく、分かりやすい、きめ細やかな教科用図書を選定している。また、誰もが学べるユニバーサルデザインを

意識した図書もあり、安心して取り扱うことができる。

- ・様々な図書の調査が細かく行われたと思います。個人的な意見ですが、総評の横に記されているとAとBの意味が解りませんでした。

4 その他

- ・どの教科書も軽量化に取り組んでいるが、まだまだ重量があり、保護者としてはその重さが子どもの身体への影響が心配である。例えばランドセルでは企業が軽量化をコンセプトに商品化しており、教科書ももっと取り組むべきと思う。
- ・日頃子どもたちが使用している教科書について選考過程等勉強になりました。出版社ごとに特徴があり、今までも地域の実情に合った教科書が選択されていると感じました。
- ・微妙かつ繊細な注意を要する教科用図書の採択だけに、後々しっかりと説明できるよう慎重に手続きを踏んで採択事務が行われていることを改めて認識した。最終的には、実際に教科用図書を使用する児童生徒により効果があるもの、そして先生方が使いやすいものが採択されることを願っている。
- ・今回、公聴会に参加させていただき、子どもたちが使用している教科書が採択されるまでの過程等を知ることができ、とても勉強になりました。教科書採択に携わっていただいた多くの方々のお力添えに感謝いたします。
- ・全体的に適正かつ公正な手続きが取られていると感じた。
- ・先生方をはじめ、関係者皆様の尽力に感謝します。
- ・委員となったことで子どもたちが使用する教科書がどのような過程で決定され、どのような目的をもって選定されているかを知ることができとても勉強になりました。教科書は家庭での学習においても重要な役割を果たすものであると思いますので、その視点からもより良い教材を選定していただければと思っています。
- ・短い期間の中でこれまでしっかりと検討し、資料を作成していること、何より「子どもたちにとっての教科書」選択につながっていることを改めて痛感しました。
- ・様々な過程を経て教科用図書が採択されているため、教員がそれをうまく活用して授業を行うことが重要となってくる。そのためにも、多くの方の意見を反映して採択してほしい。
- ・今回、このような教科用図書採択に参加させていただき、とても学びの深いものとなりました。今後もより分かりやすく見やすい内容の教科書を元に子どもたちが学びたくなるような教科書を選んでいけるようこの会が重要だと感じました。
- ・協議会でしっかり議論されている事は、いい事かもしれないが、一方でデジタル化を併用するなど柔軟に工夫を取り入れるのは、逆にハードルが高すぎるのではないか。改革の阻害要因とならないことを願う。
- ・どの教科書の新学習指導要領に基づいて工夫された内容で甲乙つけがたい評価である。改めて教科書は“最大なる参考書”であることを自負している。

- ・今の教科書は我々の時代とは別物であると感じた。
- ・今年は感染症などの関係で教科書展示会が縮小されたが、次回は特に一般図書などは実際に使用する児童生徒の保護者の方々にもぜひ見てもらいたいと思いました。

(教科書を見ての感想)

- ・意見ではないのですが親として少し思ったことをその他で少し書いておきたいと思いました。

教科書を先週見せていただいてすごくワクワク（楽しい気持ち）しました。でも、ワクワクしないものもありました。子供も教科書に興味を持つと違うのかなと思いました。今の教科書は本当に見やすく分かりやすいです。親も見やすくなっている教科書はすごいと思いました。子供も興味をもてるワクワクがある教科書というもので勉強できると本当に楽しい授業になるのかなと少し思いました。